

米沢市SDGs「わたしのなせばなる」を紹介します

企業・団体名 nitorito

代表者氏名 鈴木健太郎

関係するSDGsの目標（ゴール）に○を書いてください。（複数選択可）

①貧困 	②飢餓 	③保健 	④教育 	⑤ジェンダー 	⑥水・衛生 
⑦エネルギー 	⑧経済成長・雇用 	⑨インフラ・産業化・イノベーション 	⑩不平等 	⑪持続可能な都市 	⑫持続可能な生産と消費 
⑬気候変動 	⑭海洋資源 	⑮陸上資源 	⑯平和 	⑰実施手段 	

取組のタイトル

『捨てられるものをタカラモノに』

取組の説明

※SDGsの各ゴールの達成にどのように貢献するかなどを記載してください。

※欄が不足する場合や写真・画像がある場合は任意様式（A4タテ）で提出してください。

12 持続可能な生産と消費

ファッション衣料は流行があり、流行を追う事でユーザーの購買促進を促すビジネスモデルです。流行から外れた衣料品は廃棄処分も含めて年間数百トンの処分を強いられます。一度も袖を通さない洋服も数多くあります。

nitorito は流行よりも長くユーザーに受け入れられる普遍的なデザインを心掛け生産工場に同じデザインを長く生産してもらえるように持続可能なデザインを目指しております。

4 教育

nitorito は繊維製品を通して服育という取り組みを行なっています。

製品から出てしまう端布(ハギレ)や残糸を再利用して、新しいプロダクトを生み出しています。

布は切ったり、結んだり、貼っつけたりと、鉄や木材などと比べて取り扱いやすく、小さな子供から安全に触ることが出来ます。

子供達の自由な発想で新しいプロダクトに生まれ変わる可能性があります。

残ってしまった布を再利用して、考えるきっかけになってほしい（服育）と思っています。

小さい頃から布に興味を持ってもらい、デザインや洋服の文化を米沢に残してもらいたいと思います。



捨てられるものをタカラモノに



nitorito の製品は沢山の糸を使って 素敵で特別なストールが出来上がります。
日々の生活の中に 彩を演出して なんだか happy な気分で過ごすことができるストールです。
でも その生産の工程では 綺麗な糸が沢山捨てられている事にも目を向けないといけません。
残糸や残布を捨てるという判断をする前に 何かに使うことが出来ないかと考えるのが
ストールをデザインした人の責任 未来への責任だと nitorito は考えます。

捨てられるものをタカラモノに 未来の子供達の発想を育てるためにできることを